

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ごみ収集			事業番号	010-030
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境業務課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保			
		有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有	現状値	643g(2019年度)	目標値	628g(2025年度)	
		有・無	ゴール	ゴール⑫つくる責任つかう責任			ターゲット	12.2,12.5
		寄与するKPI	有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進			
		有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量				
		有	現状値	643g(2019年度)	目標値	638g(2023年)		
2	関連計画		堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画					
3	事業開始年度		昭和 34 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民(約83万人)、市内事業者(約3万事業所)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	一般廃棄物を迅速に収集し、生活環境の保全と公衆衛生の維持向上を図るとともに、家庭から排出されるごみのうち、資源化が可能なごみを分別し、循環型社会の構築に寄与する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭系ごみ」については、「生活ごみ」(週2回) の計画収集をはじめ、「粗大ごみ」や家庭の引越し等による「臨時的ごみ」(申込) の有料収集を実施。</li> <li>資源化が可能な「ペットボトル」「缶・びん」は月2回、「プラスチック製容器包装」は週1回、「小型金属」は月1回、「古紙類(令和2年度まで美原区で実施)」は月1回、それぞれ収集を行い資源の有効利用を図る。</li> <li>「事業系ごみ」については、継続(申込・週6回)もしくは臨時(申込)の有料収集を実施。</li> </ul>
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	収集運搬業務委託業者
10	公民連携・協働事業	

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和元年度	令和2年度	目標	目標	点検年度	
				令和3年度	令和7年度				
				目標値	13,389	13,293	12,748	14,172	
				実績値	12,735	13,422			
			達成率	95%	101%				
当該指標を選定した理由		循環型社会の構築を目指す中で、各種リサイクル法が整備されごみ行政が新たな方向性で進むうえで、本市のリサイクル率についても向上させる必要があるため。							
目標値の設定根拠・算出方法		目標は、第3次一般廃棄物処理基本計画策定ベースによる推計値 ※資源は全市的に収集している缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属を設定							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和元年度	令和2年度	目標			
				令和3年度					
				目標値	50,000	50,000	42,800		
				実績値	81,000	57,050			
			達成率	62%	88%				
当該指標を選定した理由		生活ごみの約24%を占めるリサイクル可能な資源の適正排出指導を強化することで、ごみの排出量の減少及びリサイクル率の向上を図るため。							
目標値の設定根拠・算出方法		迅速かつ適正な収集の維持・向上に向けては、排出段階での協力が不可欠であることから、不適正排出者に対する実効性のある啓発・指導方法を指標に設定。(啓発シールによる指導は、不適正排出を是正することを目的に実施しており、啓発シールの貼付(ごみ残置)件数が減少するほど、達成率が上昇するものとなっている。)							

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ごみ収集	事業番号	010-030
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	5,240,772	5,241,193	5,352,700	5,294,859	5,447,632
13 財源内訳					
国支出金	13,576				
府支出金					
市債			5,300		6,000
その他 ( 資源物売払収入 )	172	192	184		
受益者負担金(使用料、手数料等)	459,298	467,248	485,707	480,433	528,863
一般財源	4,767,726	4,773,753	4,861,509	4,814,426	4,912,769
14 人件費 (b)	59,100	58,400	68,100	70,600	70,600
15 年間経費(c)=(a)+(b)	5,299,872	5,299,593	5,420,800	5,365,459	5,518,232

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		R2	R3				R2	R3	
16 事業費内訳	廃棄物処理・運搬等委託料	R2	決算 5,204,924	4,724,491	消耗品費 ( 枠 )	R2	決算 536	536	
		R3	予算 5,324,913	4,796,050		R3	予算 646	646	
	情報システム開発・運用・保守委託料 ( I T 経費 )	R2	決算 61,288	61,288	通信運搬費 ( 枠 )	R2	決算 474	474	
		R3	予算 61,288	61,288		R3	予算 684	684	
	各業務委託料 ( その他 )	R2	決算 19,725	19,725	物品等修繕料 ( 枠 )	R2	決算 323	323	
		R3	予算 26,110	26,110		R3	予算 280	280	
印刷製本費 ( 枠 )	R2	決算 5,103	5,103	期末手当 ( 会計年度任用職員 )	R2	決算 220	220		
	R3	予算 8,541	8,541		R3	予算 316	316		
会計年度任用職員報酬	R2	決算 1,427	1,427	その他 ( 旅費、備品購入費など )	R2	決算 839	839		
	R3	予算 2,610	2,610		R3	予算 22,244	16,244		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 資源ごみ収集量	t	12,735	13,422
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,383,964	1,398,419
③ 単位当たり経費 ( ② ÷ ① × 1,000円 )	円/単位	108,674	104,189
備考 ( 算出についての説明等 )	資源ごみ収集量は、工場への搬入量の合計である。年間経費は、資源・小型金属の委託料の合計である。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 資源収集量は、不適切排出ごみの残置を行う等の啓発や、新型コロナウイルス感染症による外出抑制やテレワークの推進などの影響もあり、自宅での時間が増えたことから約5.4%上昇している。一方、事業費は人件費の上昇があつたが決算ベースで約1%の増加にとどまっている。よって、費用対効果は向上したと考える。

KPI等への寄与 ( 基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか )

19 一般廃棄物の迅速な収集によって生活環境の保全と公衆衛生の維持を行ってきた。  
また、啓発シールを張り付け、ごみの残置を行うなどの啓発を行うことで、排出者の意識向上につなげ適正排出を促すことにより、資源の回収量が令和元年度よりも増え、さらに目標値も達成していることから循環型社会の構築に寄与している。